

2013年度 早稲田大学 法学部

日本史 解答例

I 古代の自然災害 <標準>

問1 い・え 問2 お 問3 酒船石 問4 聖武 問5 あ・え

問6 う・お 問7 神泉苑 問8 い 問9 多賀城 問10 え

2012年以来、目立つようになった地震をテーマとした問題。問8や問9は、過去問演習で見慣れていていた人もいよう。問10は消去法で解くことも十分可能な標準問題である。

II 蒙古襲来 <標準>

問1 マルコ=ポーロ 問2 あ 問3 三別抄 問4 う 問5 てつはう

問6 え 問7 い 問8 い 問9 内管領 問10 う・お

問4のみ難問。問6・10はやや難しいものの、推測で正解できた人も多いだろう。問10の2つ選べ問題は完答で1点と思われる。全体の小問数が40個なので、この小問も1点と数えないと数字が合わなくなる。

III 近代の外交・文化 <やや易>

問1 芸術座 問2 米騒動 問3 築地小劇場 問4 う 問5 あ

問6 小林多喜二 問7 あ 問8 え 問9 生きてゐる兵隊 問10 お

早大入試の定番テーマが出題されている。問6や問9の記述問題では正確な文字が書けたらどうか。

IV 戦後の沖縄史 <標準>

問1 い 問2 う 問3 祖国復帰 問4 佐藤栄作 問5 屋良朝苗

問6 北方領土 問7 い 問8 非核三原則 問9 え 問10 い

問6は、考えれば国後・択捉・歯舞・色丹の四島だとは気づくが、それを「北方領土」と書くか、「北方四島」と書くか悩んだだろう。「千島列島」とも悩んだかもしれない。どこまで別解が用意されているかが疑問であるが、完全なる解答は「北方領土」である。問7は難問。選択肢うの「密約」とは、1960年の安保改定の際のもの。下線部とは直接関係がないため、これを誤文と捉えることもできる。

講評

昨年のような難しさはなくなり、早稲田らしい問題が多く出された。たとえばⅡのような大問を難しいと感じた人は、早大入試の傾向と対策に本気になるべきだ。ただし、出題されやすいテーマを知っているだけでは得点につながらない。あくまでもどいう知識を持っているべきかにこだわる必要がある。この大問を1ミスで押さえられるようなレベルをめざしたい。それは決して教科書や用語集をすみずみまで覚える学習ではない。効率の良さを重視しよう。